

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2025年11月7日まで（2017年2月21日設定）	
運用方針	値上がり益の獲得および配当収益の確保をめざして運用を行います。	
主要運用対象	ベビーマザーファンド	グローバル株式インカム マザーファンド受益証券 世界主要先進国の株式
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> 世界主要先進国の株式を主要投資対象とし、割安で好配当が期待される株式に投資を行います。 信用力が高いと考えられる企業へ投資することで、ファンドの安全性を高め、安定的な収益の獲得をめざします。 30年超の運用実績に裏付けられた独自の割安評価手法を持つUBSアセット・マネジメント株式会社からアドバイスを受け、運用を行います。 原則として、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。 	
主な組入制限	ベビーマザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> 株式への実質投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> 株式への投資は、制限を設けません。 外貨建資産への投資は、制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

先進国好配当株式ファンド （3カ月決算型）為替ヘッジあり



第8期（決算日：2019年2月7日）

第9期（決算日：2019年5月7日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「先進国好配当株式ファンド（3カ月決算型）為替ヘッジあり」は、去る5月7日に第9期の決算を行いましたので、法令に基づいて第8期～第9期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数) MSCI ワールド・インデックス (ネット配当込み、現地通貨建て)		株組入比率	株先物比率	純資産額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	期中 騰落率	期中 騰落率			
(設定日)	円	円	%		%	%	%	百万円
2017年2月21日	10,000	—	—	10,000	—	—	—	10
1期(2017年5月8日)	10,298	5	3.0	10,328	3.3	98.2	—	104
2期(2017年8月7日)	10,146	305	1.5	10,595	2.6	97.7	—	167
3期(2017年11月7日)	10,143	505	4.9	11,138	5.1	98.0	—	196
4期(2018年2月7日)	10,083	5	△0.5	11,234	0.9	95.3	—	267
5期(2018年5月7日)	10,166	5	0.9	11,384	1.3	96.8	—	274
6期(2018年8月7日)	10,177	305	3.1	11,924	4.7	97.6	—	273
7期(2018年11月7日)	9,728	5	△4.4	11,423	△4.2	98.6	—	259
8期(2019年2月7日)	9,638	5	△0.9	11,431	0.1	98.7	—	272
9期(2019年5月7日)	10,152	105	6.4	12,231	7.0	97.0	—	230

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) 参考指数は、MSCI ワールド・インデックス（ネット配当込み、現地通貨建て）（出所：MSCI）の基準日前営業日の指数を当ファンドの設定時を10,000として三菱UFJ国際投信が指数化したものです。

出所：MSCI。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額		(参考指数) MSCI ワールド・インデックス (ネット配当込み、現地通貨建て)		株式 組入比率	株式 先物比率
		円	騰落率	騰落率	騰落率		
第8期	(期首) 2018年11月7日	9,728	—	11,423	—	98.6	—
	11月末	9,718	△0.1	11,371	△0.5	98.0	—
	12月末	8,794	△9.6	10,420	△8.8	98.2	—
	2019年1月末	9,503	△2.3	11,210	△1.9	98.5	—
	(期末) 2019年2月7日	9,643	△0.9	11,431	0.1	98.7	—
第9期	(期首) 2019年2月7日	9,638	—	11,431	—	98.7	—
	2月末	9,783	1.5	11,687	2.2	96.9	—
	3月末	9,849	2.2	11,775	3.0	98.7	—
	4月末	10,263	6.5	12,235	7.0	96.7	—
	(期末) 2019年5月7日	10,257	6.4	12,231	7.0	97.0	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

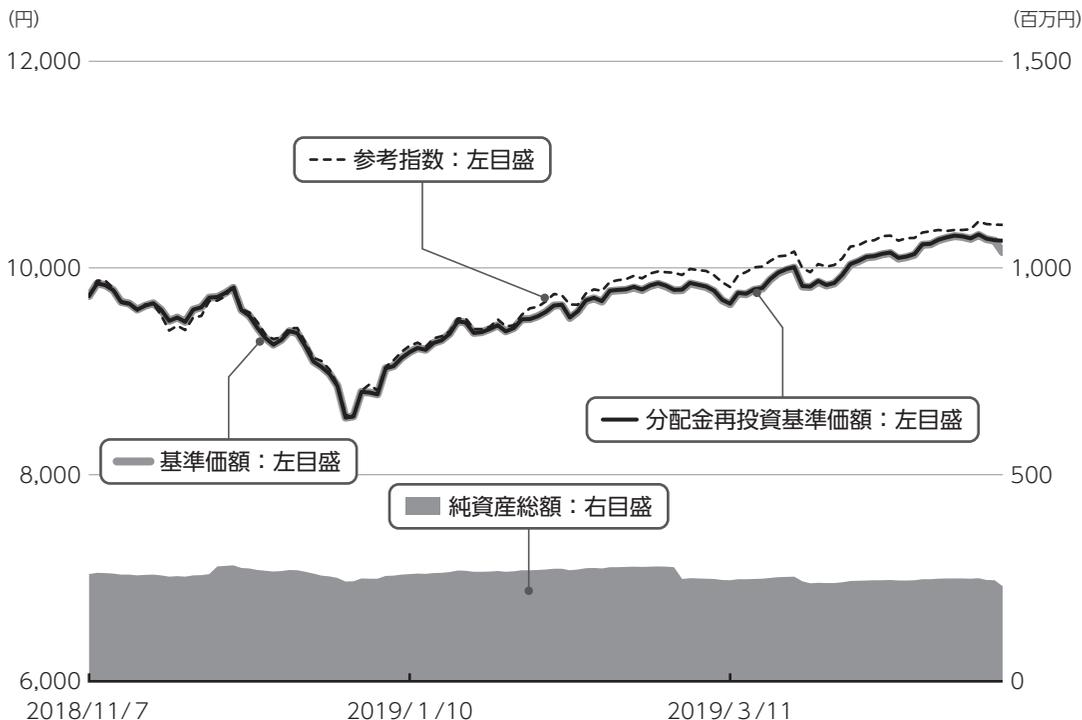
(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第8期～第9期：2018年11月8日～2019年5月7日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第8期首	9,728円
第9期末	10,152円
既払分配金	110円
騰落率	5.5%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ5.5%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

基準価額の変動要因

上昇要因

組入銘柄のうち ERIE INDEMNITY COMPANY-CL A や BROADCOM INC などの株価が利益成長への期待感などを背景に上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

組入銘柄のうち CENTRICA PLC や SCHLUMBERGER LTD などの株価が業績の先行き不透明感などを背景に下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

第8期～第9期：2018年11月8日～2019年5月7日

投資環境について

株式市況

当作成期の世界主要先進国株式は、一時大きく下落したものの、その後上昇基調をたどりました。

2018年12月上旬には、中国の大手通信機器メーカー首脳がカナダで拘束されたことを機に米中通商摩擦の激化への不安感が台頭しました。また、中国の低調な景気指標が発表されたことや、米国の金融政策について利上げ継続姿勢が示されたことなどから、世界的な景気減速懸念が広がり、株価は下落しました。

2019年に入ると諸々の先行き不安感が後退したことなどから、株価は戻り基調となりました。その後、米中の通商協議に進展の兆しがみられたことや、米国、ユーロ圏の中央銀行が相次いで2019年内の政策金利の引き上げを見送る姿勢を示し、世界的に長期国債の利回りが低下したことなどが株価の押し上げ要因となりました。株価上昇局面では主に米国株が牽引役となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

先進国好配当株式ファンド（3ヵ月決算型）為替ヘッジあり

グローバル株式インカム マザーファンド受益証券の組入比率を概ね98%以上に保ち、実質的な株式の運用はマザーファンドで行いました。

マザーファンドの当作成期末の組入比率は、98.0%としました。

実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかりました。その結果、為替変動に伴う基準価額への影響は限定的となりました。

グローバル株式インカム マザーファンド

基準価額は当作成期首に比べ4.5%の上昇となりました。

世界主要先進国の株式を主要投資対象とし、株式組入比率は高位に保ちました。

UBSアセット・マネジメント株式会社からアドバイスを受け、幅広い業種の中から、相対的に高い配当が期待でき、信用力が高いと判断される銘柄に注目し、中長期的な視点に基づいて株価が割安と判断された銘柄を中心に投資してまいりました。

当作成期に新規組入、全株売却した主な銘柄のポイントは以下の通りです。

主な新規組入銘柄

CIE FINANCIERE RICHEMONT-REG（スイス、宝飾ブランド品などの製造／販売会社）：取扱い製品のブランド価値との対比で株価が割安との判断などに基づいて組み入れました。

AMERIPRISE FINANCIAL INC（アメリカ、金融サービス会社）：注力業務分野の切り替えによる業績改善などを評価して組み入れました。

DAIMLER AG-REGISTERED SHARES（ドイツ、自動車メーカー）：米中摩擦などのマイナス要因があるものの、株価は過度に反応し割安な水準にあるとの判断などに基づいて組み入

れました。

主な全株売却銘柄

SANOFI（フランス、医薬品メーカー）、MERCK & CO. INC.（アメリカ、医薬品メーカー）、MARVELL TECHNOLOGY GROUP LTD（アメリカ、半導体メーカー）：相対的な割安度の観点から、他銘柄への入れ替えのため、全株売却しました。

以上のような投資判断を行いました。米ドルなどの主要投資先通貨が円に対して下落したことなどがマイナス影響となったものの、組入銘柄の株価上昇により基準価額は上昇しました。

組入株式のうち運用成果に影響した主な銘柄は以下の通りです。

（プラス要因）

ERIE INDEMNITY COMPANY-CL A（アメリカ、保険会社）、BROADCOM INC（アメリカ、半導体メーカー）：利益成長への期待感などを背景に株価が上昇し、プラスに寄与しました。

（マイナス要因）

CENTRICA PLC（イギリス、エネルギーサービス会社）、SCHLUMBERGER LTD（アメリカ、石油サービス会社）：業績の先行き不透明感などを背景に株価が下落し、マイナスに影響しました。

（ご参考）

■上位5業種

作成期首（2018年11月7日）

	業種	比率
1	金融	23.1%
2	生活必需品	13.8%
3	情報技術	13.0%
4	ヘルスケア	11.3%
5	一般消費財・サービス	8.6%
	その他業種	29.4%
	合計	99.1%

作成期末（2019年5月7日）

	業種	比率
1	金融	21.6%
2	情報技術	12.8%
3	生活必需品	12.4%
4	一般消費財・サービス	10.3%
5	ヘルスケア	9.3%
	その他業種	32.7%
	合計	99.0%

（注）業種別比率は、マザーファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）業種はG I C S（世界産業分類基準）のセクター分類に基づいたものです。

Global Industry Classification Standard（“G I C S”）は、MSCI Inc.とS & P（Standard & Poor's）が開発した業種分類です。G I C Sに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS & Pに帰属します。

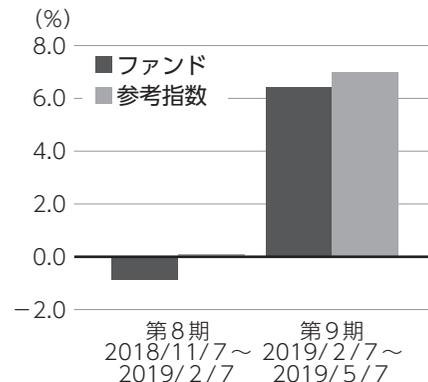
第8期～第9期：2018年11月8日～2019年5月7日

当投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数はMSCIワールド・インデックス（ネット配当込み、現地通貨建て）です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第8期	第9期
	2018年11月8日～2019年2月7日	2019年2月8日～2019年5月7日
当期分配金（対基準価額比率）	5 (0.052%)	105 (1.024%)
当期の収益	5	98
当期の収益以外	—	6
翌期繰越分配対象額	123	151

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ 先進国好配当株式ファンド（3ヵ月決算型）為替ヘッジあり

今後の運用方針

グローバル株式インカム マザーファンド受益証券を高位に組み入れ、マザーファンドを通じて株式の運用を行っていく方針です。

実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。

▶ グローバル株式インカム マザーファンド

運用環境の見通し

当作成期中には世界経済の先行きへの不安感が広がる局面がありました。この時期に前後して欧米ともに中央銀行が利上げを急がない姿勢を示しています。加えて、景気減速が懸念された中国について底入れの兆しがみられることも先進国株式にとって明るい材料となり得ましょう。但し、米中の通商摩擦や英国の欧州連合（EU）からの離脱交渉など、この先も株式市場を巡る先行きの不透明要因が払拭されない状況が続く可能性は否定できません。

今後の運用方針

引き続き、世界主要先進国の株式を主要投資対象とし、株式組入比率は高位に保つ方針です。UBSアセット・マネジメント株式会社からアドバイスを受け、株価の相対的な割安度と配当利回りに着目し、併せて財務状況が堅固と考えられる企業への投資を行います。また、より割安と判断される銘柄への入れ替え等を随時行っていく方針です。先行きへの不透明感が漂う投資環境において、割安銘柄の株価が直ちに上昇するとは言い難く、また時機をはかることは難しいものの、中長期的には投資価値が見直される局面が訪れるものと考えています。

2018年11月8日～2019年5月7日

1万口当たりの費用明細

項目	第8期～第9期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	64	0.666	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(31)	(0.320)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(31)	(0.320)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.027)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	7	0.072	(b) 売買委託手数料 = 作成期中の売買委託手数料 ÷ 作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(7)	(0.072)	
(c) 有価証券取引税	2	0.017	(c) 有価証券取引税 = 作成期中の有価証券取引税 ÷ 作成期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(2)	(0.017)	
(d) その他費用	1	0.013	(d) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.007)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.004)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	74	0.768	

作成期中の平均基準価額は、9,648円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

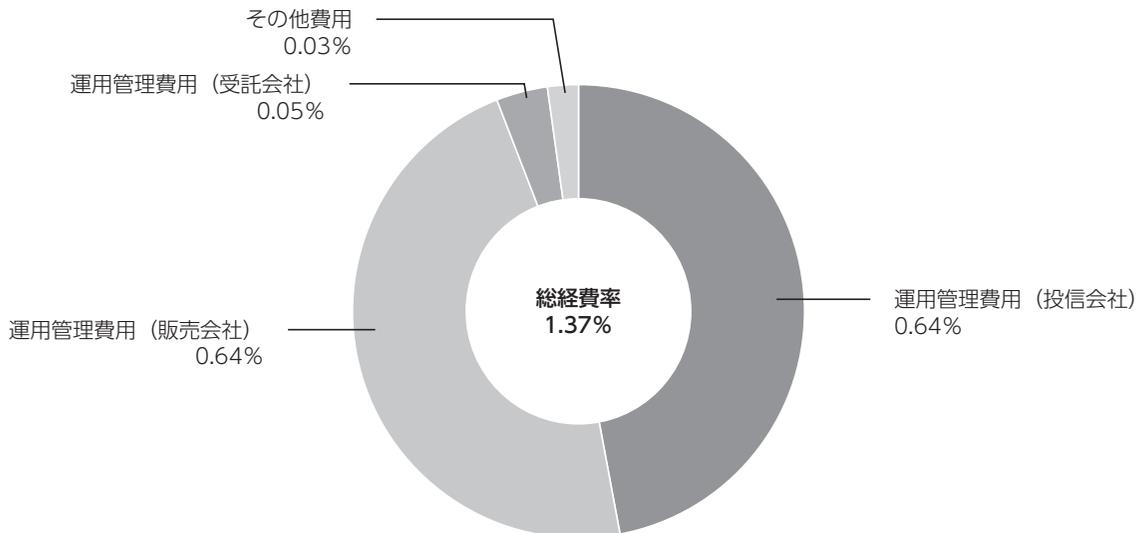
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.37%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2018年11月8日～2019年5月7日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第8期～第9期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
グローバル株式インカム マザーファンド	千口 18,532	千円 37,909	千口 38,662	千円 81,511

○株式売買比率

(2018年11月8日～2019年5月7日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	第8期～第9期	
	グローバル株式インカム マザーファンド	
(a) 当作成期中の株式売買金額	9,956,077千円	
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額	18,588,323千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.53	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2018年11月8日～2019年5月7日)

利害関係人との取引状況

<先進国好配当株式ファンド（3ヵ月決算型）為替ヘッジあり>

区 分	第8期～第9期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替先物取引	百万円 1,742	百万円 1,025	% 58.8	百万円 1,719	百万円 1,019	% 59.3

<グローバル株式インカム マザーファンド>

区 分	第8期～第9期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株式	百万円 3,923	百万円 245	% 6.2	百万円 6,032	百万円 45	% 0.7
為替直物取引	1,515	781	51.6	3,806	1,283	33.7

平均保有割合 1.3%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	第8期～第9期
売買委託手数料総額 (A)	185千円
うち利害関係人への支払額 (B)	3千円
(B) / (A)	2.0%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2019年5月7日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第7期末	第9期末	
	口 数	口 数	評 価 額
グローバル株式インカム マザーファンド	千口 122,777	千口 102,647	千円 225,372

○投資信託財産の構成

(2019年5月7日現在)

項 目	第9期末	
	評 価 額	比 率
グローバル株式インカム マザーファンド	千円 225,372	% 91.8
コール・ローン等、その他	20,038	8.2
投資信託財産総額	245,410	100.0

(注) グローバル株式インカム マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（16,339,568千円）の投資信託財産総額（18,771,141千円）に対する比率は87.0%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=110.69円	1 カナダドル=82.33円	1 ユーロ=123.93円	1 イギリスポンド=145.08円
1 スイスフラン=108.80円	1 ノルウェークローネ=12.69円	1 オーストラリアドル=77.38円	1 香港ドル=14.11円

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第8期末	第9期末
	2019年2月7日現在	2019年5月7日現在
	円	円
(A) 資産	503,665,789	440,675,263
コール・ローン等	3,344,363	2,453,903
グローバル株式インカム マザーファンド(評価額)	270,765,249	225,372,242
未収入金	229,556,177	212,849,118
(B) 負債	231,353,211	210,592,337
未払金	230,322,166	195,264,390
未払収益分配金	141,267	2,379,794
未払解約金	-	12,113,477
未払信託報酬	887,460	832,502
未払利息	5	4
その他未払費用	2,313	2,170
(C) 純資産総額(A-B)	272,312,578	230,082,926
元本	282,534,192	226,647,140
次期繰越損益金	△ 10,221,614	3,435,786
(D) 受益権総口数	282,534,192口	226,647,140口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,638円	10,152円

○損益の状況

項 目	第8期	第9期
	2018年11月8日～ 2019年2月7日	2019年2月8日～ 2019年5月7日
	円	円
(A) 配当等収益	△ 257	△ 340
支払利息	△ 257	△ 340
(B) 有価証券売買損益	△ 1,445,350	14,829,580
売買益	11,417,893	23,582,940
売買損	△12,863,243	△ 8,753,360
(C) 信託報酬等	△ 900,577	△ 834,672
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 2,346,184	13,994,568
(E) 前期繰越損益金	△11,502,789	△11,202,163
(F) 追加信託差損益金	3,768,626	3,023,175
(配当等相当額)	(1,492,448)	(1,217,218)
(売買損益相当額)	(2,276,178)	(1,805,957)
(G) 計(D+E+F)	△10,080,347	5,815,580
(H) 収益分配金	△ 141,267	△ 2,379,794
次期繰越損益金(G+H)	△10,221,614	3,435,786
追加信託差損益金	3,768,626	3,023,175
(配当等相当額)	(1,517,358)	(1,217,218)
(売買損益相当額)	(2,251,268)	(1,805,957)
分配準備積立金	1,968,866	1,445,655
繰越損益金	△15,959,106	△ 1,033,044

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首（前作成期末）元本額 266,540,956円
 作成期中追加設定元本額 20,131,838円
 作成期中一部解約元本額 60,025,654円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末1.0152円です。

②分配金の計算過程

項 目	2018年11月8日～ 2019年2月7日	2019年2月8日～ 2019年5月7日
費用控除後の配当等収益額	562,130円	2,225,290円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円
収益調整金額	1,517,358円	1,990,131円
分配準備積立金額	1,548,003円	1,600,159円
当ファンドの分配対象収益額	3,627,491円	5,815,580円
1万口当たり収益分配対象額	128円	256円
1万口当たり分配金額	5円	105円
収益分配金金額	141,267円	2,379,794円

○分配金のお知らせ

	第8期	第9期
1万円当たり分配金（税込み）	5円	105円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お知らせ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

グローバル株式インカム マザーファンド

《第158期》決算日2018年12月7日 《第161期》決算日2019年3月7日

《第159期》決算日2019年1月7日 《第162期》決算日2019年4月8日

《第160期》決算日2019年2月7日 《第163期》決算日2019年5月7日

[計算期間：2018年11月8日～2019年5月7日]

「グローバル株式インカム マザーファンド」は、5月7日に第163期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第158期～第163期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	信託財産の成長を目指して運用を行います。
主 要 運 用 対 象	世界主要先進国の株式
主 な 組 入 制 限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資は、制限を設けません。 ・同一銘柄の株式への投資は、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への投資は、制限を設けません。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数) MSCIワールド・ インデックス(円換算)		株組入比率	株先物比率	純資産額
	期騰落	中率	期騰落	中率			
	円	%		%	%	%	百万円
134期(2016年12月7日)	17,332	12.8	18,409	14.5	99.3	—	20,848
135期(2017年1月10日)	18,165	4.8	19,250	4.6	98.7	—	21,511
136期(2017年2月7日)	17,707	△ 2.5	18,784	△ 2.4	98.6	—	19,596
137期(2017年3月7日)	18,541	4.7	19,704	4.9	98.8	—	21,278
138期(2017年4月7日)	18,083	△ 2.5	19,235	△ 2.4	98.8	—	21,342
139期(2017年5月8日)	18,934	4.7	20,113	4.6	98.4	—	22,473
140期(2017年6月7日)	18,836	△ 0.5	19,902	△ 1.0	98.4	—	22,576
141期(2017年7月7日)	19,343	2.7	20,429	2.6	97.7	—	23,094
142期(2017年8月7日)	19,438	0.5	20,589	0.8	99.4	—	22,509
143期(2017年9月7日)	19,175	△ 1.4	20,260	△ 1.6	98.9	—	22,179
144期(2017年10月10日)	20,521	7.0	21,538	6.3	99.2	—	23,109
145期(2017年11月7日)	20,917	1.9	22,100	2.6	99.2	—	22,547
146期(2017年12月7日)	20,801	△ 0.6	22,021	△ 0.4	99.0	—	22,795
147期(2018年1月9日)	21,980	5.7	23,244	5.6	99.5	—	24,048
148期(2018年2月7日)	20,648	△ 6.1	21,867	△ 5.9	98.2	—	22,088
149期(2018年3月7日)	20,094	△ 2.7	21,345	△ 2.4	98.2	—	21,454
150期(2018年4月9日)	20,055	△ 0.2	20,987	△ 1.7	98.7	—	21,189
151期(2018年5月7日)	20,600	2.7	21,820	4.0	99.0	—	21,456
152期(2018年6月7日)	21,161	2.7	22,627	3.7	99.0	—	21,805
153期(2018年7月9日)	20,997	△ 0.8	22,479	△ 0.7	99.2	—	21,458
154期(2018年8月7日)	21,547	2.6	23,132	2.9	99.4	—	21,486
155期(2018年9月7日)	20,891	△ 3.0	22,869	△ 1.1	98.9	—	20,541
156期(2018年10月9日)	21,428	2.6	23,409	2.4	97.6	—	20,682
157期(2018年11月7日)	21,012	△ 1.9	22,447	△ 4.1	99.1	—	20,067
158期(2018年12月7日)	20,225	△ 3.7	21,763	△ 3.0	98.6	—	19,317
159期(2019年1月7日)	18,817	△ 7.0	20,049	△ 7.9	98.9	—	17,854
160期(2019年2月7日)	20,397	8.4	21,857	9.0	99.3	—	19,056
161期(2019年3月7日)	21,027	3.1	22,586	3.3	99.1	—	19,171
162期(2019年4月8日)	21,791	3.6	23,375	3.5	98.2	—	19,249
163期(2019年5月7日)	21,956	0.8	23,443	0.3	99.0	—	18,460

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) MSCI ワールド・インデックス(円換算)は、MSCI ワールド・インデックス(米ドル建て税引き後配当込み)(出所:MSCI)の基準日前営業日の指数を基準日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により三菱UFJ国際投信が円換算したうえで設定時を10,000として指数化したものです。

MSCI ワールド・インデックス(出所:MSCI)。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものであります。その確実性及び完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的など一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額		(参考指数) MSCIワールド・ インデックス(円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率
		円	騰落率	騰落率	%		
第158期	(期首) 2018年11月7日	21,012	—	22,447	—	99.1	—
	11月末	20,984	△0.1	22,371	△0.3	98.5	—
	(期末) 2018年12月7日	20,225	△3.7	21,763	△3.0	98.6	—
第159期	(期首) 2018年12月7日	20,225	—	21,763	—	98.6	—
	12月末	18,628	△7.9	20,050	△7.9	98.7	—
	(期末) 2019年1月7日	18,817	△7.0	20,049	△7.9	98.9	—
第160期	(期首) 2019年1月7日	18,817	—	20,049	—	98.9	—
	1月末	20,012	6.4	21,273	6.1	99.1	—
	(期末) 2019年2月7日	20,397	8.4	21,857	9.0	99.3	—
第161期	(期首) 2019年2月7日	20,397	—	21,857	—	99.3	—
	2月末	20,964	2.8	22,557	3.2	97.2	—
	(期末) 2019年3月7日	21,027	3.1	22,586	3.3	99.1	—
第162期	(期首) 2019年3月7日	21,027	—	22,586	—	99.1	—
	3月末	21,092	0.3	22,676	0.4	98.9	—
	(期末) 2019年4月8日	21,791	3.6	23,375	3.5	98.2	—
第163期	(期首) 2019年4月8日	21,791	—	23,375	—	98.2	—
	4月末	22,087	1.4	23,655	1.2	97.5	—
	(期末) 2019年5月7日	21,956	0.8	23,443	0.3	99.0	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

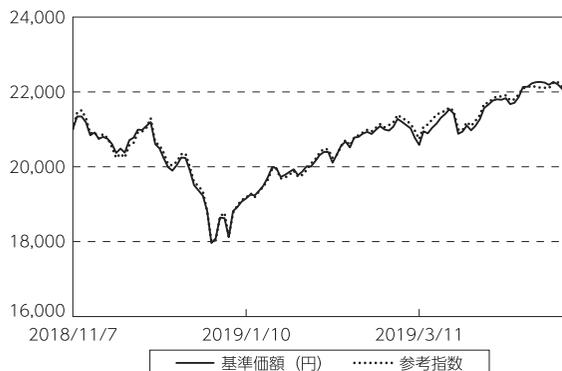
○運用経過

●当作成期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ4.5%の上昇となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は作成期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●投資環境について

◎株式市況

- ・当作成期の世界主要先進国株式は、一時大きく下落したものの、その後上昇基調をたどりました。
- ・2018年12月上旬には、中国の大手通信機器メーカー首脳がカナダで拘束されたことを機に米中通商摩擦の激化への不安感が台頭しました。また、中国の低調な景気指標が発表されたことや、米国の金融政策について利上げ継続姿勢が示されたことなどから、世界的な景気減速懸念が広がり、株価は下落しました。
- ・2019年に入ると諸々の先行き不安感が後退したことなどから、株価は戻り基調となりました。その後米中の通商協議に進展の兆しがみられたことや、米国、ユーロ圏の中央銀行が相次いで2019年内の政策金利の引き上げを見送る姿勢を示し、世界的に長期国債の利回りが低下したことなどが株価の押し上げ要因となりました。株

価上昇局面では主に米国株が牽引役となりました。

◎為替市況

- ・主要通貨のうち米ドルやユーロは、政策金利の引き上げ観測が後退したことなどから円に対して下落しました。また、英ポンドはイギリスの欧州連合（EU）からの離脱を巡る先行き不透明感などを背景に円に対して下落しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・世界主要先進国の株式を主要投資対象とし、株式組入比率は高位に保ちました。
- ・UBSアセット・マネジメント株式会社からアドバイスを受け、幅広い業種の中から、相対的に高い配当が期待でき、信用力が高いと判断される銘柄に注目し、中長期的な視点に基づいて株価が割安と判断された銘柄を中心に投資してまいりました。
- ・当作成期に新規組入、全株売却した主な銘柄のポイントは以下の通りです。

◎主な新規組入銘柄

- ・CIE FINANCIERE RICHEMONT-REG（スイス、宝飾ブランド品などの製造/販売会社）：取扱い製品のブランド価値との対比で株価が割安との判断などに基づいて組み入れました。
- ・AMERIPRISE FINANCIAL INC（アメリカ、金融サービス会社）：注力業務分野の切り替えによる業績改善などを評価して組み入れました。
- ・DAIMLER AG-REGISTERED SHARES（ドイツ、自動車メーカー）：米中通商摩擦などのマイナス要因があるものの、株価は過度に反応し割安水準にあるとの判断などに基づいて組み入れました。

◎主な全株売却銘柄

- ・SANOFI（フランス、医薬品メーカー）、MERCK & CO. INC.（アメリカ、医薬品メーカー）、MARVELL TECHNOLOGY GROUP LTD（アメリカ、半導体メーカー）：相対的な割安度の観点から、他銘柄への

入れ替えのため、全株売却しました。

以上のような投資判断を行いました。米ドルなどの主要投資先通貨が円に対して下落したことなどがマイナス影響となったものの、組入銘柄の株価上昇により基準価額は上昇しました。

組入株式のうち運用成果に影響した主な銘柄は以下の通りです。

(プラス要因)

- ・ ERIE INDEMNITY COMPANY-CL A (アメリカ、保険会社)、BROADCOM INC (アメリカ、半導体メーカー): 利益成長への期待感などを背景に株価が上昇し、プラスに寄与しました。

(マイナス要因)

- ・ CENTRICA PLC (イギリス、エネルギーサービス会社)、SCHLUMBERGER LTD (アメリカ、石油サービス会社): 業績の先行き不透明感などを背景に株価が下落し、マイナスに影響しました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・ 当作成中には世界経済の先行きへの不安感が広がる局面がありましたが、この時期に前後して欧米ともに中央銀行が利上げを急がない姿勢を示しています。加えて、景気減速が懸念された中国について底入れの兆しがみられることも先進国株式にとって明るい材料となり得ましょう。但し、米中の通商摩擦や英国のEUからの離脱交渉など、この先も株式市場を巡る先行きの不透明要因が払拭されない状況が続く可能性は否定できません。

◎今後の運用方針

- ・ 引き続き、世界主要先進国の株式を主要投資対象とし、株式組入比率は高位に保つ方針です。
- ・ UBSアセット・マネジメント株式会社からアドバイスを受け、株価の相対的な割安度と配当利回りに着目し、併せて財務状況が堅固と考えられる企業への投資を行います。また、より割安と判断される銘柄への入れ替え等を随時行っていく方針です。先行きへの不透明感が漂う投資環境において、割安銘柄の株価が直ちに上昇するとは言い難く、また時機をはかることは難しいものの、中長期的には投資価値が見直される局面が訪れるものと考えています。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年11月8日～2019年5月7日)

項 目	第158期～第163期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 15 (15)	% 0.072 (0.072)	(a) 売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	3 (3)	0.017 (0.017)	(b) 有価証券取引税＝作成期中の有価証券取引税÷作成期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	1 (1) (0)	0.007 (0.007) (0.000)	(c) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	19	0.096	
作成期中の平均基準価額は、20,630円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年11月8日～2019年5月7日)

株式

		第158期～第163期			
		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 41	千円 358,343	千株 324	千円 461,370
	アメリカ	百株 2,154 (-)	千アメリカドル 13,299 (△ 114)	百株 6,197	千アメリカドル 27,614
外 国	カナダ	-	千カナダドル -	230	千カナダドル 415
	ユーロ	-	千ユーロ -	-	千ユーロ -
	ドイツ	367 (-)	1,945 (△ 74)	503	967
	イタリア	2,320	1,863	290	186
	フランス	675	2,241	484	3,484
	オランダ	-	-	510	2,064
	ベルギー	180	136	880	760
	フィンランド	-	-	40	164
	イギリス	1,841	千イギリスポンド 2,473	2,828	千イギリスポンド 1,833
	スイス	633 (58)	千スイスフラン 5,165 (-)	39	千スイスフラン 658
	スウェーデン	-	千スウェーデンクローネ -	2,700	千スウェーデンクローネ 21,809
	ノルウェー	-	千ノルウェークローネ -	1,060	千ノルウェークローネ 20,873
	オーストラリア	1,540 (558)	千オーストラリアドル 1,848 (-)	1,173	千オーストラリアドル 6,991
	香港	22,300	千香港ドル 13,880	3,100	千香港ドル 2,548

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2018年11月8日～2019年5月7日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	第158期～第163期
(a) 当作成期中の株式売買金額	9,961,123千円
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額	18,588,323千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.53

(注) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2018年11月8日～2019年5月7日)

利害関係人との取引状況

区 分	第158期～第163期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
株式	3,928	245	6.2	6,032	45	0.7
為替直物取引	1,515	781	51.6	3,806	1,283	33.7

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	第158期～第163期
売買委託手数料総額 (A)	13,749千円
うち利害関係人への支払額 (B)	265千円
(B) / (A)	1.9%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2019年5月7日現在)

国内株式

銘	柄	第157期末		第163期末	
		株数	株数	評価額	評価額
		千株	千株	千円	
医薬品 (14.1%)					
武田薬品工業		37	71	302,034	
非鉄金属 (11.0%)					
住友電気工業		170.4	164.1	236,468	
機械 (16.1%)					
ナブテスコ		111.6	107.6	344,320	
電気機器 (9.0%)					
東京エレクトロン		14.4	11.2	192,584	
輸送用機器 (10.8%)					
日産自動車		281.8	—	—	
トヨタ自動車		38.6	33.9	231,333	
その他製品 (9.0%)					
任天堂		—	5.2	193,544	
卸売業 (15.5%)					
伊藤忠商事		174.9	165	331,320	
その他金融業 (14.5%)					
オリックス		210.2	198	310,959	
合計	株数・金額	1,038	756	2,142,562	
	銘柄数<比率>	8	8	<11.6%>	

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

外国株式

銘柄	第157期末		第163期末		業種等	
	株数	株数	評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
JPMORGAN CHASE & CO	528	442	5,094	563,943	銀行	
WALT DISNEY CO/THE	—	168	2,268	251,044	メディア・娯楽	
FIRSTENERGY CORP	576	541	2,266	250,910	公益事業	
INGERSOLL-RAND PLC	—	170	2,098	232,280	資本財	
JOHNSON & JOHNSON	353	321	4,561	504,866	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
MONDELEZ INTERNATIONAL INC-A	855	815	4,205	465,495	食品・飲料・タバコ	
ELI LILLY & CO	340	320	3,732	413,183	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
LAS VEGAS SANDS CORP	562	480	3,195	353,694	消費者サービス	
MERCK & CO. INC.	490	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
BANK OF AMERICA CORP	1,913	1,118	3,407	377,188	銀行	
NEWELL BRANDS INC	930	—	—	—	耐久消費財・アパレル	
PEPSICO INC	326	280	3,563	394,450	食品・飲料・タバコ	
ALTRIA GROUP INC	321	—	—	—	食品・飲料・タバコ	
SCHLUMBERGER LTD	430	550	2,268	251,067	エネルギー	
UNITED TECHNOLOGIES CORP	145	—	—	—	資本財	
WALGREENS BOOTS ALLIANCE INC	290	—	—	—	食品・生活必需品小売り	
WELLS FARGO & CO	998	938	4,542	502,835	銀行	
CONAGRA BRANDS INC	—	637	1,898	210,118	食品・飲料・タバコ	
MICROSOFT CORP	926	816	10,460	1,157,872	ソフトウェア・サービス	
COMCAST CORP-CLASS A	1,006	929	4,022	445,258	メディア・娯楽	
KLA-TENCOR CORP	219	—	—	—	半導体・半導体製造装置	
MARVELL TECHNOLOGY GROUP LTD	1,718	—	—	—	半導体・半導体製造装置	
AGCO CORP	295	290	2,150	238,022	資本財	
AMERIPRISE FINANCIAL INC	—	166	2,444	270,620	各種金融	
EASTMAN CHEMICAL CO	243	208	1,606	177,810	素材	
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	443	370	3,149	348,611	食品・飲料・タバコ	
DELTA AIR LINES INC	440	439	2,534	280,526	運輸	
AMERICAN WATER WORKS CO INC	—	187	2,004	221,914	公益事業	
GENERAL MOTORS CO	862	797	3,035	336,029	自動車・自動車部品	
NXP SEMICONDUCTORS NV	—	158	1,675	185,418	半導体・半導体製造装置	
PLAINS GP HOLDINGS LP-CL A	1,653	1,721	4,066	450,145	エネルギー	
BROADCOM INC	130	126	3,925	434,544	半導体・半導体製造装置	
ERIE INDEMNITY COMPANY-CL A	210	172	3,432	379,916	保険	
小計	株数・金額	17,203	13,160	87,612	9,697,773	
	銘柄数<比率>	27	26	—	<52.5%>	
(カナダ)			千カナダドル			
CANADIAN NATURAL RESOURCES	510	480	1,808	148,905	エネルギー	
HUSKY ENERGY INC	1,262	1,062	1,473	121,287	エネルギー	
小計	株数・金額	1,772	1,542	3,281	270,192	
	銘柄数<比率>	2	2	—	<1.5%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
DAIMLER AG-REGISTERED SHARES	—	367	2,104	260,795	自動車・自動車部品	
DEUTSCHE TELEKOM AG-REG	1,218	775	1,154	143,050	電気通信サービス	
LANXESS AG	370	310	1,536	190,439	素材	
小計	株数・金額	1,588	1,452	4,795	594,285	
	銘柄数<比率>	2	3	—	<3.2%>	
(ユーロ…イタリア)						
BANCA MEDIOLANUM SPA	3,295	3,005	1,893	234,618	各種金融	

銘柄	第157期末		第163期末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価	額	
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(ユーロ…イタリア) INFRASTRUTTURE WIRELESS ITAL	百株 —	百株 2,320	千ユーロ 1,740	千円 215,638	電気通信サービス
小 計	株 数 ・ 金 額 3,295	株 数 ・ 金 額 5,325	3,633	450,256	
	銘柄 数 < 比 率 > 1	2	—	< 2.4% >	
(ユーロ…フランス) SANOFI VALEO SA PUBLICIS GROUPE	470 — 181	— 545 297	— 1,687 1,560	— 209,177 193,385	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス 自動車・自動車部品 メディア・娯楽
小 計	株 数 ・ 金 額 651	株 数 ・ 金 額 842	3,248	402,562	
	銘柄 数 < 比 率 > 2	2	—	< 2.2% >	
(ユーロ…オランダ) UNILEVER NV-CVA ABN AMRO GROUP NV-CVA ASR NEDERLAND NV	587 796 585	257 656 545	1,375 1,342 2,065	170,429 166,417 255,983	家庭用品・パーソナル用品 銀行 保険
小 計	株 数 ・ 金 額 1,968	株 数 ・ 金 額 1,458	4,783	592,830	
	銘柄 数 < 比 率 > 3	3	—	< 3.2% >	
(ユーロ…ベルギー) BPOST SA	700	—	—	—	運輸
小 計	株 数 ・ 金 額 700	—	—	—	
	銘柄 数 < 比 率 > 1	—	—	< -% >	
(ユーロ…フィンランド) SAMPO OYJ-A SHS	710	670	2,707	335,557	保険
小 計	株 数 ・ 金 額 710	株 数 ・ 金 額 670	2,707	335,557	
	銘柄 数 < 比 率 > 1	1	—	< 1.8% >	
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額 8,912	株 数 ・ 金 額 9,747	19,168	2,375,492	
	銘柄 数 < 比 率 > 10	11	—	< 12.9% >	
(イギリス) BP PLC SAGE GROUP PLC/THE HSBC HOLDINGS PLC BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC CENTRICA PLC GLAXOSMITHKLINE PLC SPECTRIS PLC ANGLO AMERICAN PLC BABCOCK INTL GROUP PLC	4,877 2,503 2,516 711 14,400 1,074 466 — 2,950	5,217 1,703 2,142 613 13,750 978 518 879 2,710	千イギリスポンド 2,859 1,213 1,457 1,778 1,449 1,518 1,434 1,741 1,414	414,916 176,024 211,504 258,014 210,257 220,238 208,094 252,602 205,154	エネルギー ソフトウェア・サービス 銀行 食品・飲料・タバコ 公益事業 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス テクノロジー・ハードウェアおよび機器 素材 商業・専門サービス
小 計	株 数 ・ 金 額 29,498	株 数 ・ 金 額 28,511	14,866	2,156,806	
	銘柄 数 < 比 率 > 8	9	—	< 11.7% >	
(スイス) CIE FINANCIERE RICHEMONT-REG ZURICH INSURANCE GROUP AG NOVARTIS AG-REG ALCON INC	— 120 — —	340 106 268 58	千スイスフラン 2,491 3,412 2,246 352	271,077 371,253 244,387 38,331	耐久消費財・アパレル 保険 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス ヘルスケア機器・サービス
小 計	株 数 ・ 金 額 120	株 数 ・ 金 額 773	8,502	925,050	
	銘柄 数 < 比 率 > 1	4	—	< 5.0% >	
(スウェーデン) NORDEA BANK ABP	2,700	—	—	—	銀行
小 計	株 数 ・ 金 額 2,700	—	—	—	
	銘柄 数 < 比 率 > 1	—	—	< -% >	
(ノルウェー) EQUINOR ASA	900	—	千ノルウェークローネ —	—	エネルギー

銘柄	株数	第163期末		業種等	
		株数	評価額		
(ノルウェー) TELENOR ASA	百株 1,368	百株 1,208	千ノルウェークローネ 21,509	千円 272,953	電気通信サービス
小計	株数・金額 2,268	株数 1,208	21,509	272,953	
	銘柄数<比率>	2	1	-	<1.5%>
(オーストラリア) RIO TINTO LTD WESFARMERS LTD COLES GROUP LTD	485 688 -	- - 2,098	千オーストラリアドル - - 2,651	- - 205,201	素材 小売 食品・生活必需品小売り
小計	株数・金額 1,173	2,098	2,651	205,201	
	銘柄数<比率>	2	1	-	<1.1%>
(香港) WH GROUP LTD	-	19,200	千香港ドル 16,204	228,649	食品・飲料・タバコ
小計	株数・金額 -	19,200	16,204	228,649	
	銘柄数<比率>	-	1	-	<1.2%>
合計	株数・金額 63,648	76,241	-	16,132,120	
	銘柄数<比率>	53	55	-	<87.4%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2019年5月7日現在)

項目	第163期末	
	評価額	比率
株式	千円 18,274,683	% 97.4
コール・ローン等、その他	496,458	2.6
投資信託財産総額	18,771,141	100.0

(注) 作成期末における外貨建純資産（16,339,568千円）の投資信託財産総額（18,771,141千円）に対する比率は87.0%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=110.69円	1 カナダドル=82.33円	1 ユーロ=123.93円	1 イギリスポンド=145.08円
1 スイスフラン=108.80円	1 ノルウェークローネ=12.69円	1 オーストラリアドル=77.38円	1 香港ドル=14.11円

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第158期末	第159期末	第160期末	第161期末	第162期末	第163期末
	2018年12月7日現在	2019年1月7日現在	2019年2月7日現在	2019年3月7日現在	2019年4月8日現在	2019年5月7日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	19,404,959,686	17,948,257,090	19,122,428,252	19,446,992,455	19,508,454,633	18,938,052,276
コール・ローン等	271,071,099	196,978,400	175,994,862	258,413,309	506,656,860	434,675,170
株式(評価額)	19,050,269,714	17,664,178,582	18,924,095,667	18,998,450,935	18,910,199,940	18,274,683,111
未収入金	38,466,000	49,523,138	5,808,130	136,037,361	—	174,956,750
未収配当金	45,152,873	37,576,970	16,529,593	54,090,850	91,597,833	53,737,245
(B) 負債	87,281,152	94,009,000	66,090,188	275,233,608	258,881,650	477,899,086
未払金	74,602,173	32,550,000	—	209,099,165	151,020,740	166,910,800
未払解約金	12,678,506	61,458,544	66,089,816	66,134,390	107,860,307	310,987,779
未払利息	265	60	228	53	603	507
その他未払費用	208	396	144	—	—	—
(C) 純資産総額(A-B)	19,317,678,534	17,854,248,090	19,056,338,064	19,171,758,847	19,249,572,983	18,460,153,190
元本	9,551,176,485	9,488,496,478	9,342,675,346	9,117,733,714	8,833,793,789	8,407,958,198
次期繰越損益金	9,766,502,049	8,365,751,612	9,713,662,718	10,054,025,133	10,415,779,194	10,052,194,992
(D) 受益権総口数	9,551,176,485口	9,488,496,478口	9,342,675,346口	9,117,733,714口	8,833,793,789口	8,407,958,198口
1万口当たり基準価額(C/D)	20,225円	18,817円	20,397円	21,027円	21,791円	21,956円

○損益の状況

項 目	第158期	第159期	第160期	第161期	第162期	第163期
	2018年11月8日～ 2018年12月7日	2018年12月8日～ 2019年1月7日	2019年1月8日～ 2019年2月7日	2019年2月8日～ 2019年3月7日	2019年3月8日～ 2019年4月8日	2019年4月9日～ 2019年5月7日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	58,380,642	35,996,350	10,581,300	61,884,639	91,303,260	46,917,935
受取配当金	58,314,918	35,952,437	10,421,785	61,737,495	91,217,491	46,822,207
受取利息	73,965	47,360	162,486	149,115	85,737	106,074
その他収益金	—	—	—	798	3,809	—
支払利息	△ 8,241	△ 3,447	△ 2,971	△ 2,769	△ 3,777	△ 10,346
(B) 有価証券売買損益	△ 807,918,500	△1,377,224,646	1,480,363,795	523,275,204	587,431,090	102,730,240
売買益	247,030,913	142,746,207	1,521,816,082	823,613,056	801,136,710	553,334,430
売買損	△ 1,054,949,413	△1,519,970,853	△ 41,452,287	△ 300,337,852	△ 213,705,620	△ 450,604,190
(C) 保管費用等	△ 259,244	△ 396	△ 582,609	—	△ 456,954	—
(D) 当期繰越損益 (A+B+C)	△ 749,797,102	△1,341,228,692	1,490,362,486	585,159,843	678,277,396	149,648,175
(E) 前期繰越損益金	10,516,596,591	9,766,502,049	8,365,751,612	9,713,662,718	10,054,025,133	10,415,779,194
(F) 追加信託差損益金	110,391,045	24,192,319	4,426,680	1,480,279	2,581,616	1,386,071
(G) 解約差損益金	△ 110,688,485	△ 83,714,064	△ 146,878,060	△ 246,277,707	△ 319,104,951	△ 514,618,448
(H) 計 (D+E+F+G)	9,766,502,049	8,365,751,612	9,713,662,718	10,054,025,133	10,415,779,194	10,052,194,992
次期繰越損益金 (H)	9,766,502,049	8,365,751,612	9,713,662,718	10,054,025,133	10,415,779,194	10,052,194,992

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ① 作成期首 (前作成期末) 元本額 9,550,543,249円
 作成期中追加設定元本額 139,150,115円
 作成期中一部解約元本額 1,281,735,166円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末2,1956円です。
- ② 作成期末における元本の内訳 (当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)
 グローバル財産3分法ファンド (毎月決算型) 2,115,022,356円
 グローバル株式インカム (毎月決算型) 1,594,997,371円
 グローバル財産3分法ファンド (1年決算型) 25,695,799円
 先進国好配当株式ファンド (3ヵ月決算型) 3,752,870,813円
 先進国好配当株式ファンド (年2回決算型) 749,075,059円
 先進国好配当株式ファンド (3ヵ月決算型) 為替ヘッジあり 102,647,223円
 先進国好配当株式ファンド (年2回決算型) 為替ヘッジあり 67,649,577円
 合計 8,407,958,198円